

令和7年度 第1回 グループホーム長崎いずみの郷 地域連携推進会議 会議録

日時：令和7年7月5日（土） 14時～15時

会場：長崎いずみの郷 3F 多目的室

出席者：外部委員5名 TF様、MK様、MT様、MT様、ES様

利用者1名 Y様

施設 事業部管理者、アドバイザー、サービス管理責任者（記録）

■地域連携推進会議について【報告：事業部管理者】

- ・配布資料：地域連携推進会議要綱、「地域連携推進会議」について（別紙1）
- ・いけぶくろ茜の里事業部地域移行として、GHいずみの郷開設時から今に至るまでの説明をおこなった。

■委嘱状交付 対象者：6名

- ・地域関係者 1名 MK様
- ・利用者及び家族等関係者 2名 MT様、Y様（利用者代表）
- ・福祉知見者 1名 ES様
- ・経営及び福祉知見者 1名 TF様
- ・市区町村障害福祉担当者等 1名 豊島区民社会福祉協議会 MT様

○会長選任 TF様、副会長選任 MK様

■事業所のサービスについて【報告：アドバイザー】

- ・配布資料：GHについて（別紙2）、グループホーム長崎いずみの郷概略（別紙3）、令和7年度事業計画について（別紙4）
- ・配布資料をもとに詳細説明を行い、内容を確認した。

■他所所掌事項について【各委員より】

- ・MK様：民生委員を6年携わり、いずみの郷の存在は知っていたが、どのような施設であるか、中身は知らなかった。＊建物自体はデイサービスとして知られている。
- ・MT様：娘は入所して楽しそうにしているが、コロナ過では近所の決まったルートしか行けていなかったため、今後は色々と連れて行って欲しい。入所後年齢とともに支援も変わってくる。今後地域の力も必要である。
- ・Y様：日中は茜の就労支援に行っている。開設時より入居しているが、居室はやや狭く感じる。
- ・ES様：デイサービスではコロナ前までは認知カフェを月1回開催して、2階のご利用者にも参加をしていただいていたが、その後、再開をするも参加率が悪く、中止の状態が続いている。いずれまた何かしらの形で、開催をしていきたいと思っている。
- ・TF様：あおぞらは4ユニットで、20部屋ある施設である。面会は都度承り、家族会も3か月に1回開催をしている。ただ、ご家族の高齢化がかなり進んでいる状態である。現在の入所希望者は発達障害の方が多く、精神障害の方は空き始めている。
- ・MT様：現在の東京都の入所待機者数はどの程度か。

○事業部管理者：東京都の入所待機者数は2,200人いるため、入所することがとても難しい現状である。

■次回開催 令和8年度実施予定

■施設内視察【説明：サービス管理責任者】

- ・討議終了後、1階と2階の設備を紹介し、参加者全員で視察している。